

一般社団法人日本行動分析学会 2024 年度事業報告

総務委員会

1. ホームページの管理・運営

学会ホームページの管理・運営を行った。また、創立 40 年記念事業のページを新設した。

2. 会員メール配信システムの運用

2018 年度に開始したメール配信システムを運用した。また、配信メールが迷惑メールに判定される事態への対応を行った(継続)。

3. 理事会クラウドストレージの検討

理事会クラウドストレージについて検討した。

4. 1～3 を含んだ統合的なシステムの導入の検討

統合的な会員管理システムについて、事務委託先を検討、業者選定を行った。

5. 学会業務運営(理事会、総会等)

定例理事会(6 回)と社員総会(1 回)を開催した。

6. 日本行動分析学会ダイバーシティ・ポリシー、および、ハラスメント・ポリシー、ハラスメント防止に関する規程・ハラスメント相談窓口対応マニュアルの作成

法務委員と協力し、ダイバーシティ・ポリシー、および、ハラスメント・ポリシー、ハラスメント防止に関する規程・ハラスメント相談窓口対応マニュアルを作成した。

7. 入会案内パンフレットの改訂

入会案内のパンフレットの内容を改訂し、2024 年度版を作成した。

法務委員会

1. 定款、細則等の規則の整備

・総務委員会と協力して、ダイバーシティ・ポリシー、ハラスメント・ポリシー、ハラスメント防止に関する規程及びハラスメント対応マニュアルの作成にいたった。

・利益相反に関する規定の作成及び実際の運用について検討した。

2. 倫理委員会

該当事項がなかったため、委員会の開催には至らなかった。

3. 選挙管理委員会

社員総会(2025 年 6 月)における役員(理事・監事)選挙、新理事会における理事長選挙のための選挙管理委員会を新しく設置し、実施方法について検討、準備を行った。

財務委員会

1. 収支予算(案)および決算(案)の作成を行った。

2. 学会の財務状況の点検、並びに必要な改善を検討した。

3. 「研究会開催助成事業」および「自主公開講座助成事業」を行った。なお 2024 年度は研究会および自主公開講座の申請はなく、助成は行われなかった。

渉外委員会

1. ABAI の支部としての活動

J-ABA 事業報告／事業計画書(2024 年度分)を提出した。

2. 2024 年5月に開催された ABAI 年次大会の ABAI Expo で、J-ABA の活動を紹介するポスターを展示した。
3. J-ABA ニュースを年 2 回発行した。
4. 2025 年度における日本在住学生会員 ABAI/SQAB 参加助成事業について、予算の見直しについて財務委員会と協議した後、その募集をメーリングリストで通知した(2025 年3月 31 日締切)。
5. 日本行動分析学会若手会の要望を受ける形で、日本行動分析学会年次大会における学生研究者による大会発表の助成制度を新設した。また、2024 年度の年次大会より、その運営・管理を行った。
6. 2024 年度年次大会における若手研究者優秀発表賞について、その運営・管理を日本行動分析学会若手会と共同で行った。
7. 日本行動分析学会若手会の活動を支援した。

企画委員会

1. 年次大会支援事業

- ・2024 年度年次大会(駒澤大学:久保尚也委員長)の支援および、学会企画シンポジウム「なぜ、いま『橋渡し研究』なのか:行動分析学の現状」を企画・実施した。
- ・2025 年度年次大会(オンライン&福井:山岸直基委員長)の開催に関して、企画・実施準備を行った。
- ・2026 年次大会の実施方法(開催地を含む)を検討した。

2. 研究教育推進事業

- ・2024 年度年次大会学会企画シンポジウムをもとに、オンデマンド配信企画として「『橋渡し研究』の現状と展開(2024~)」を作成・配信を行った。
- ・学会賞(論文賞)の投票準備・選考作業を行った。
- ・2024 年度「春の学校(於:同志社大学今出川校地)」を開催した。

編集委員会

1. 機関誌『行動分析学研究』の発行

第 38 巻 2 号を 2023 年 4 月 5 日、第 39 巻1号を 2024 年 12 月 12 日に、同 2 号を 2025 年 3 月発行した。

2. 投稿・審査システムの導入を検討した。

上記委員会以外の事業報告

1. 学会創立 40 年記念事業実行委員会

- ・40 年記念事業で開催したシンポジウムをアーカイブ化し、公開した。
- ・行動分析学会研究アンソロジー2023 年版を発行した。

2. 事典編纂委員会

事典編纂委員会において、『行動分析学事典』の改訂の準備を開始した。